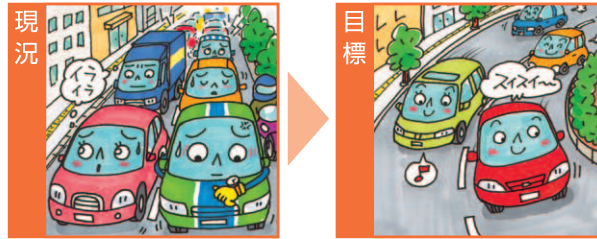


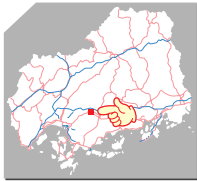
# 交通渋滞によるイライラを少なくします



昨年度の成果

## 主要地方道 志和インター線

達成

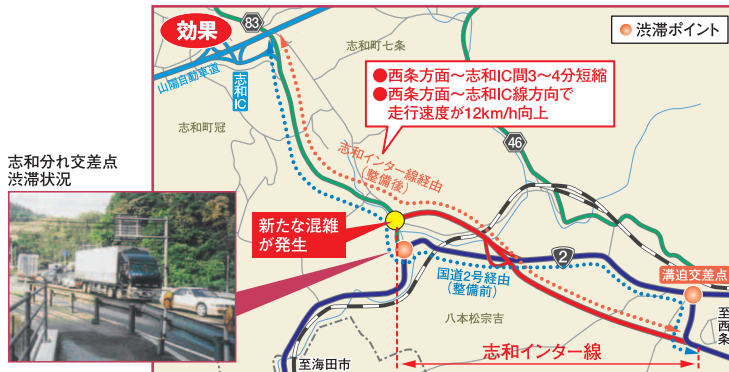


- 目的** 一般国道2号の渋滞緩和、志和インターへのアクセス性向上
- 対策** 延長約1.8kmのバイパスを整備しました。
- 効果**
  - 西条方面～志和IC間の時間が約3分～4分短縮されました。
  - 西条方面⇒志和IC線方向では、速度が約12km/h向上しました。
- 反省点** 志和インター線西側取付部に新設された信号交差点で、新たな混雑が発生しました。今後、改善に向けて対策を検討していきます。

削減実績 **約200**千人時間/年



交通の転換が図られた志和インター線の状況



志和分れ交差点 渋滞状況



### 利用者の声

国道2号沿道住民 (自動車修理販売)  
志和インター線供用前は国道2号の混雑がひどく、店への出入りもままならない状態でした。現在は混雑もなく、店への出入りも大変楽になり、お客さんからも出入りが楽になったとの声を聞いています。

### Topics

#### ワンコインループバス&バスロケ※3

昨年度の成果

- 目的** 福山都市圏の渋滞緩和
- 対策** ワンコインループバス(福山市内を運賃100円で循環できるバス)とバスロケ(バスの到着時刻がわかる情報の提供)を実施しました。
- 効果** 利用者の約9割の方が便利と回答しました。



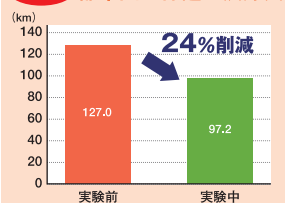
ワンコインループバスとバスロケ

#### ノーマイカーデー※4 (福山都市圏)

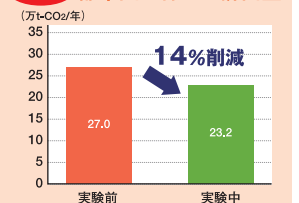
昨年度の成果

- 目的** 福山都市圏の渋滞緩和
- 対策** 福山市内の企業の協力いただいて、ノーマイカーデーを実施しました。
- 効果**
  - 都市圏全体の延べ渋滞長が24%削減されました。
  - 都市圏全体のCO2排出量が14%削減されました。

#### 効果1 都市圏全体延べ渋滞長



#### 効果2 都市圏全体CO2排出量



※「Topics」であげる事業は、短期的な施策であり指標の対象とはなっていません。 ※短期的な効果はありましたが、今後継続的に取り組んでいくための検討が必要です。



## 高速道路等の利用促進を図っていきます

活力

高速道路等の利用促進を図っています



昨年度の  
成果

広島県全体としては、完了予定の事業がなかったため、指標の変化はありませんでした。しかし、各種社会実験などの短期的な施策により、一時的な高速道路の利用促進をはかることができました。

今後の  
取り組み

新規バイパス整備などの規格の高い道路<sup>\*6</sup>の整備を計画的に行うとともに、ETC<sup>\*7</sup>割引制度、スマートIC<sup>\*8</sup>の設置などの高速道路利用促進策について、引き続き施策を実施していきます。

規格の高い道路を使う割合の指標



Topics

### 中国自動車道 加計バスストップ スマートIC

昨年度の成果

中国自動車道の加計バスストップ(BS)において、平成16年12月18日よりスマートIC(ETC専用IC)社会実験を実施しています。春、夏季の観光シーズンの利用状況、ETC普及後の利用状況を把握し、更なる実験効果の検証を行うため、平成18年3月31日まで実験を延長しています。(平成17年10月現在)

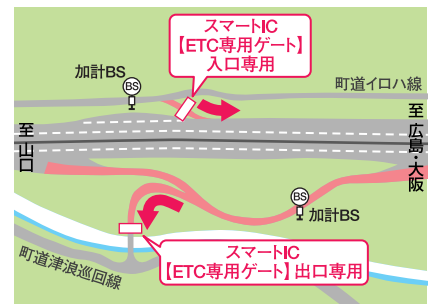
利用者数

1日平均 **約230人**

集計対象期間:H16.12.19~H17.2.28

利用者の特性

- 87%が広島方面からの利用
- 広島北ICからの利用が39%と多い



Topics

### ETC搭載車専用割引制度

昨年度の成果

ETCは、料金所のアンテナとクルマに装着した「車載器」との間で、通行料金に関する情報などを無線で交信。支払いを自動的に行うため、料金所ではクルマを停めずにスムーズに通過できます。高速道路の利用促進のため、引き続きETCの各種割引サービスを行います。

マイレージサービス

通勤割引

他にもさまざまな割引サービスがあります。詳しくは、ホームページをご覧ください。  
<http://www.w-nexco.co.jp/>

※「Topics」であげる事業は、短期的な施策であり指標の対象とはなっていません。

平成17年度の取り組み

### 一般国道317号 生口島道路



- 目的 ●しまなみ海道の利用促進  
(通過交通の約6割が転換すると見込まれています)  
●生口島島内の交通安全性などの沿道環境向上
- 対策 延長約6.5kmの自動車専用道を整備します。



歩行者にとって危険な、現在の一般国道317号



生口島北ICより尾道側を望む



事業区間

期待される整備効果

生口島道路が整備されることにより、現国道317号の通過交通約6割の転換が見込まれ、沿道の環境改善及び交通の安全性が向上します。